

ヒゴタイ

Echinops setifer

キク科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 IB



種
子
植
物

日当たりのよい乾いた草原に生える多年草。大陸系遺存植物で、日本における分布域は狭い。本県では、多くは火山性高原を生育地としている。葉は長さ15～25cm，縁には短い刺があり，葉の裏は綿毛があつて真っ白。花期は8～9月。1m内外の花茎を立てて，茎の先にくす玉に似た花序をつくる。球状の花は小さい花の集まりで，その花の下に集まった葉のような総苞そうほうも青紫色で目立つ。植林や野焼きの停止などによる生育環境の変化や人による採取で，絶滅の危険性が高くなっている。（写真・文：荒金正憲）

県内分布 耶馬溪地区，玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，大分川・大野川丘陵地，豊後水道域，大野川上流域，祖母・傾山地

分布域 本州（愛知，岡山），四国，九州（長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島）
朝鮮半島

国立公園指定植物 【阿蘇くじゅう】